

# 保育おおさか

No. 475

平成 27 年 3 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

## 地域の中で信頼に足る法人・施設へ

## 公益性を積極的に発揮

本紙11月号で掲載した「オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業（仮称）」について、昨年11月25日の北摂ブロックから今年2月18日の河内ブロックまで各ブロックで事業の説明会が実施されました。

説明会では、永野治男部会長からの協力依頼、地域貢献事業推進委員会・熊井茂治委員長からの事業説明などが行われました。

同事業には2本の柱があります。一つ目は、「生活困窮者レスキュー事業」。

二つ目は各社会福祉法人が有する機能を活かし、社会参加、生きがい支援、中間的就労、学習支援など、

施設種別の特性を活かした実践を展開することです。

「生活困窮者レスキュー事業」では、各施設に「総合生活相談窓口」を設置し、生活困窮者やさまざまな生活課題を抱える方などに対し、相談支援を行います。各園ではスマイルサポーターを配置し、総合生活相談を行っており、社会資源への橋渡し

### 生活困窮世帯



など問題解決の支援を行うことは変わりませんが、必要であれば、施設長判断により、10万円を限度に現物給付などの経済的援助を行います。支援にあたっては、事業の円滑

な推進をサポートする「社会貢献支援員」とスマイルサポーターが連携して行いますが、保育園ではスマイルサポーターを専任設置することは難しく、園長などが社会貢献支援員と連携することも考えられます。

ブロック説明会では、経済的援助の原資や社会貢献支援員の配置費用・活動費のための社会貢献基金(特別部会費)の拠出をお願いしました。

この基金は、平成16年から老人施設部会の各施設が中心になり拠出しています。拠出額は各施設種別部会で定めた金額で、拠出は任意ですが、保育部会では、定員1人あたり1000円と決めました。

永野部会長は「国では社会福祉法人に対してさまざまな指摘があり、法人が置かれている状況をしっかりと把握する必要がある。先輩方が歩んで来た道を再確認し、法人創設時の理念に立ち返り、今後も地域の中で信頼に足る法人・施設になれるかが重要。事業の推進に協力をお願いしたい」と呼びかけました。

また、熊井委員長は「老人福祉施設の社会貢献事業の実績から、生活困窮者、生活課題を抱える方への経済的援助を含めた支援は不可欠。公益性の高い社会福祉法人だからこそ、さまざまな面で優遇されている。そのために公益性を積極的に発揮していく必要がある」と強調しました。



愚生は過去から将来に対する日本人としての責任を感じるようになり、十工程前から友人と天皇誕生日に上

京し両陛下のお言葉を聞き、後、靖国神社に参拝することとしていた。昨年も夜行列車で東京駅に到着し、厳冬の朝暗いうちから皇居前の列に並び立ち、陛下拝謁を待つ。周囲に並ぶのは献身的な老若男女で、話の内容から毎年の常連や遠方からの人も多いようである。

定刻、皇族方のお出ましとなり、天皇陛下のお言葉をいただく(毎年興奮のあまり頭の中が真っ白になりお言葉の内容はほとんど覚えていない)。お言葉のあと、所々から「天皇陛下万歳の発声」が上がり各々も万歳発声をする。陛下もそれにこたえられるかのように時間いっぱい身を乗り出し、お手を振ってください。愚生はこの瞬間、日本人に生まれて良かったと思うのである。

皇族方がお出ましを終えられ、君が代を斉唱し皇居をあとにし、靖国神社へ向かい英霊に誠を尽くすべく参拝し帰阪する。

(編集委員 T・S)



河野朗久氏

## 保護者に寄り添う視点で支援を — 研修会「子どもの安全を守るために」を開催

ける方法としては、客観的に物事（傷の大きさ・場所・色・形・種類）を見る、身体所見を写真で記録することが大切と指摘しました。

その際のポイントは①傷

全体②自然な体位③傷に対して真正面からピントを合わせる、の3点です。

さらに身体的虐待の特徴として、皮下出血が6割を占め、色の変化（赤→青→緑→橙→再生）や経過期間（約2週間）について解説されました。

虐待を発見する可能性の高いケースとして「乳幼児揺さぶられ症候群」を挙げられました。これは、赤ちゃんの泣き声に反応し、激しく揺さぶることで脳内出血を引き起こし、生命が危ぶまれるものです。特に朝（出社・登園準備をする時間帯）に起こることが多く、影響を受けた園児は①発熱・体調不良②哺乳力の低下③嘔吐に嘔吐する④手足の痙攣やつっぱり⑤脈の低下などの症状を起こす可能性が

児童虐待の総論として、その数は20年前と比較すると約25倍になっており、今後も増加しつづけると危惧されます。虐待のメカニズムは、ほとんどが「良い親でありたい」「良い子になってほしい」など親の心理や子育てのストレスから虐待へと変化。子どもが虐待を受けているかどうかを見分

2月5日、薬業年金会館にて、「子どもの安全を守るために」をテーマに研修会を開催。111人が参加しました。大阪府監察医でもあり、医学博士の河野朗久（こうのあきひさ）氏（河野外科医院理事長）が、乳幼児の死亡につながるさまざまな危険要因の中から、保育園で起こり得る事象を踏まえ、医学的見地より講演されました。

## 府内市町村の動向が継続的にわかる

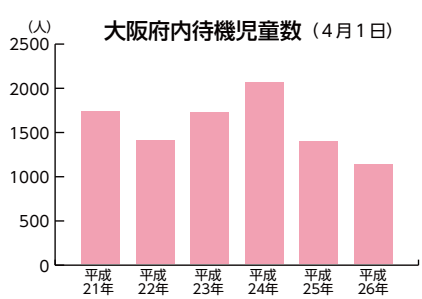
### 保育所関係資料集を発刊

今年も保育所関係資料集が発刊されました。

この資料集は府内市町村の保育施策の実施状況、待機児童数、補助金額など比較検討できる内容となっております。市町村単一の動向のみならず、府内の市町村の動向を確認することがで

す。

また、保育園の危機管理として、保育中に園児が頭を打った場合は、医療機関を受診することが望ましいと指摘。さらに睡眠中の死亡事例を基に原因を解説されました。うつ伏せ寝・乳児特有の静かな呼吸や寝具



環境が密接に関係し、顔の周辺に二酸化炭素が充満し窒息します。しっかりと見守ること、常に新鮮な空気が循環する部屋や寝具環境の整備が重要です。

「子育てと虐待は表裏一体のものであり、保護者に寄り添う視点を併せ持ち、偏在していることがよく分かります。

単独の市町村で見ると、東大阪市が284人（24%）と府内最大の待機児童数となっているのに対し、堺市は平成23年度には469人だった待機児童が23人と大きく減少しています。

保育ニーズのピークとされる平成29年に向け、待機児童のいる地域では、待機児童解消加速化プランに沿った、さまざまな設置主体による新設や小規模保育事業の拡大が予想されます。

平成26年7月の意向調査結果として、大阪府内372私立幼稚園のうち、4月より認定こども園に移行を希望する園は、幼保連携型認定こども園が35カ園（9%）、幼稚園型認定こども園が21カ園（7%）、計56

支援を行うことが重要」と強調されました。

最後に日々の保育が親の育児負担を軽減し、子どもたちの安全につながり、親子の幸せに大きく貢献していることを高く評価されました。

（調査研究委員N・H）

カ園（16%）で、幼稚園のこども園化に伴う3歳未満児の受け入れが開始。

一部地域では、就学前人口の減少に伴い、保育ニーズが減少している地域も散見されます。保育ニーズの地域格差拡大、保育事業における設置主体の多様化の傾向は今後も予想されます。

保育ニーズのピークアウト後は、ガラリと状況が変化することも考えられ、目を離せない状況です。

末筆となりましたが、保育所関係資料集作成にご尽力いただきました府及び市町村の担当者、先生各位に、厚く御礼申しあげます。この資料集を用い、それぞれの地域の保育ニーズに着目し、保育所運営のご参考にしたいだければ幸いです。

（調査研究委員I・K）

# 地域に根づく 保育園を目指して

年間約3,700人の訪問者を  
自然体で受け入れ

豊中市

アトリオとねやま保育園

当初はたくさんの方に迎  
われることで、「子どもが不安  
定になるのでは」と心配す  
る保護者の声もありました  
が、交流を重ねるごとに園  
児たちが楽しみにするよう  
になりました。最近では保  
護者から「子どもからどん  
な話が聞けるのか楽しみにで



中学生とのふれあい

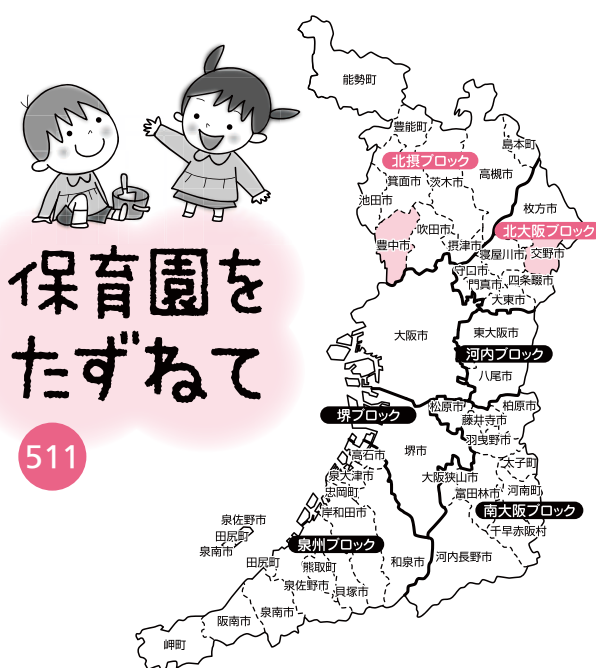
また、市内全域の中学生  
の職場体験、府立高校の2  
年生（1学級40人9クラス）、  
隣の看護学校の学生、各大  
学などの保育実習、ボラン  
ティアなどの受け入れを積  
極的にを行い、年間を通じて  
約3,700人の訪問交流  
があるそうです。

（編集委員Y・T）

アトリオとは、スペイン  
語で「泉のある中庭」とい  
う意味。その中庭に近所の  
小さな子どもたちが園庭開  
放、一時保育、プール開放  
ミニ運動会、焼き芋、餅つ  
きなどに集い、保育園の基  
本理念である「子育て家庭  
支援と地域連携で、子育て  
環境を豊かに創造する」を  
大切にしておられます。



箱車を押してもらい大喜び



保育園を  
たずねて

511

第 二きんもくせい保育  
園は定員45人。交野  
市北部、枚方市との境界近  
くにある保育園です。編集  
委員の園から一番近い保育  
園です。

園を運営する法人には、  
特別養護老人ホームやケア  
ハウスなど複数の高齢者施  
設が近くにあります。訪問  
したり、招待したりと世代  
間交流を頻繁に行っていま  
す。例えば豆まきやひな祭  
り、クリスマスでは鬼、お  
ひな様、サンタさんに代表  
の方が変身し、写真のよう  
に皆で仲良く過ごします。  
また、焼いも大会や餅つき

ではおじいちゃん、おばあ  
ちゃんの手を借ります。こ  
ちらから出かける時は、歌  
や遊戯を披露するのとは別  
に、茶道のお稽古をつけて  
いただきます。活発な子ど  
もたちもこの時だけはキ  
リッとするそうです。先生  
やお年寄りの方たちは元氣  
をくれる園児たちに変え  
謝しているとのこと。

ユニークなのは、卒園式  
と発表会を同じ日に行つて  
いることです。卒園児は10  
人前後で、式には3歳児か  
ら参加します。引き続き、  
保育の集大成である発表会  
を行います。この日主役の  
卒園児さんは朝から昼過ぎ  
まで大忙し。きつと良い思  
い出になると思います。

（編集委員J・F）



真剣に取り組む年長さん。苦い顔が見えず残念



おじいちゃん、おばあちゃんありがとう！

大きな一つの  
家族のように

世代間交流・異年齢合同で育つ

交野市

だいに

第二きんもくせい保育園

## 東 大阪市の西部に位置する累徳学園は、東

大阪市の中でも古い保育園です。貞松院の隣にあり、歴代理事長・園長は僧侶の方々が務められています。

歴史は古く日露戦争の頃、信徒を会員とした累徳婦人会が組織されたのをきっかけに、お寺で字を教えたたり、和裁を教えたりされていたそうです。保育園としては累徳文殊園として今の大阪市天王寺区に開設されました。僧侶の方々が檀家からいただいたきた和菓子などを子どもたちに分け与えたので、あそこに行けば和菓子がもらえると自

## いつも明るく 正しく 仲よく

仏様に見守られ  
功德を積み重ねる

東大阪市

累徳学園



昭和48年に建てられた園舎

然と集まるようになったそうです。時代的大変苦勞をされ、大阪中を転々とするような経営状態だったそうです。昭和16年には財団法人に、昭和27年に社会福祉法人に組織変更されました。親子三代にわたり通われている方もいらっしゃるそうです。

保育園の名前の由来は、「無量寿經」というお経の中の一節である「積功累徳（しゃつくるいとく）」より。修行に励み功德を積み重ねるという意味だそうです。

「いつも明るく、正しく仲よく」を園の方針として、現在は90人余りの子どもたちを保育されています。

園舎は昭和48年に建てられた鉄筋コンクリート2階建てで、その1階には仏様が祀られており、毎朝0歳から5歳児の全園児が集つ



毎朝手を合わせ歌を歌います

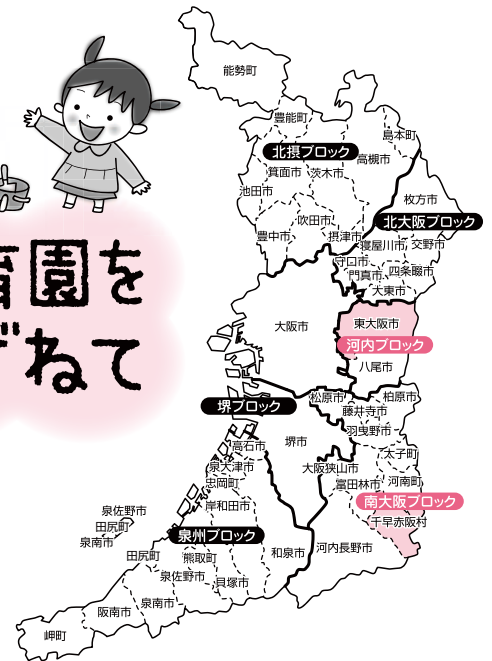
て手を合わせ歌を歌っているそうです。園庭ではお地藏様が園児たちの日々の成長を見守り、大人も子どもたちも「いつも明るく 正しく 仲よく」の功德を積み重ねられているそうです。

(編集委員K・M)



## 保育園をたずねて

512



山頂でハイチーズ!

くの発見の場となつていきます。

**げんき** 阪村にある定員90人の保育園。山々に囲まれ、自然豊かな環境です。園舎は木材が多く使われ、温かみを感じられます。

健康な身体づくりの一環として一年中、半袖、半ズボンで保育が行われています。寒さに負けず、元気に過ごす子どもたちのようすが見られました。体力づくりとして毎日、周辺住宅地のマラソン、毎月一回の金剛登山を行っておられます。登山は四季の移ろいを身近に感じ取ることができ、子どもたちにとって多

く、子どもたちにとって多

自然豊かな環境で  
健康な身体づくりを  
体力づくりと食育、  
日本文化に触れることを大切に

千早赤阪村

げんき保育園



自然豊かな環境で保育します

難しい言葉でも子どもたちは自然と覚え、意味の理解も深めていくようです。地域交流として和太鼓演奏を地域の祭り「楠公祭」で披露し喜ばれています。環境を活かした体験の中で子どもたちがのびのびと成長しているように思いました。

(編集委員H・M)



## LINEは学生管理にも有効なツール

前回、「LINEの会話」について少しふれました。それは、LINE上では理由を書いたり説明するより一言ひとこと、その場でのやりとり、即時性が必要。それが彼らのリアルな生活感覚になってしまっている、ということでした。

もう少し、LINEの状況を考えてみます。今、私の学科では学生との関わりにLINEは欠かせないものになっています。むしろ積極的に使っている面があります。学年ごとにクラス

シリーズ●より良い保育士養成のために

保育士養成校・いまどき事情②

## LINEはつながる？

大阪城南女子短期大学 松本 敦

なければなかなか届きません。

そういう環境の中で、LINEは本当に便利なツールです。全体への連絡、注意喚起、励ましなど、一斉に全員へ、それも一人ひとりと普通に会話しているようにやりとりができます。既読数もわかります。何人かの学生とは、個別のLINEがあります。いつでも、個別の相談に応じることができます。「私のことを気にしてほしい。かまってくれたい」(身辺化)学生たちには願ってもない場になります。画像や動画も送れ、簡単な資料や書類はそれで見ることが出来ます。LINEから直接電話することが可能です。学生管理の上でも非常に有効なツールになっています。

## 「つながる世界」が広がる一方で、対面は苦手

かつて、まだ固定電話が主流の頃に「ポケベル」が出てきました。番号の組み合わせでそれなりのコミュニケーションツールになっ

ていました。携帯電話が普及し、電子メールが使えるようになるとアドレス交換で「メル友」。インターネットの普及とともに「掲示板」への書き込み、そしてLINEにFacebookと、個人対個人、個人対不特定多数と簡単に「つながる世界」は広がってきました。

一方で、対面で「つながる」機会はどんどん減少しています。友だち同士でも会って話さなくても事足りる、絵文字、キャラクター文字を使えばそのときの感情まで一目でわかる。会って話さずとかえってややこしくなってしまう。これで「つながっている」のだろうか？ 会って話すこと、対面でのやりとり、さらに皆

での話し合いが苦手、できない学生も出てきました。何が起きてしまったのか？ それは、ソーシャルスキルの不足。特にノンバーバル(非言語)な情報のやりとりに関連したスキル(技術)の低下だと感じます。

## 他者とぶつかるスキルが不足したまま育つ社会に

ノンバーバル・コミュニケーション(非言語コミュニケーション)とは、言葉の強弱、高低、抑揚から表情・身振り・仕草・服装や装飾品といったものまでも含む信号のやりとりです。その経験が不足すると、発信も受信もうまくできない、思っていることを的確に表現できない、相手の示していることを読み切れない。これでは、対人関係はとて

も難しく疲れます。

また、アニメ・コミック(いわゆるマンガ)で

育った世代は、瞬時に多量の情報に接し判断しますが、表面的、一時的な解釈でどんどん次新しい情報に進んでいきます。行間を読んだり、間を感じたり、のやりとりが苦手です(だからLINEの方が楽)。他者とぶつかることを過度に恐れ避けてしまうのも無理はないでしょう。互いに「折り合い」をつけるには、それぞれの主張・思いを理解し受け入れるプロセスが必要です。そのためのスキルを習得する経験が極めて不足したまま育つ社会(時代)になっているのでしよう。

私の大学でも、学生との関わりをLINEに頼るより、中学生・高校生のように毎朝夕ホームルームを開いて、話し合う時間を考えた方がいいかもしれません。今、大学ではアクティブラーニングとかサービスマーケティングとか、グループワークや課題解決型の授業、学外での授業へのシフトが進んでいます。そのようすは、またの機会にふれたいと思います。



北摂

新制度で配慮すべきポイント

―主任保育士研修会

1月28日に淑徳大学・柏女霊峰教授をお招きし、主任保育士研修会「幼保連携型認定こども園の教育・保育要領について」をテーマ



柏女霊峰氏

に開催しました。

教育・保育要領の今回の改正点として、①幼稚園教育要領と保育所保育指針との整合性の確保、②小学校

との円滑な接続と配慮、③幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項の明示、という3つのポイントを示されました。

また、保育園の保育内容と幼稚園の教育内容とは、目指すべきところは同じでほとんど違いはないが、文化的な隔たりが存在すると指摘。山登りを例とし、学級編成と集団活動を活かしながら、最短コースの山登りを進めるイメージ

が幼稚園の取り組みにはあり、一方、時には登り、立ち止まり、下ることも含めて、ゆっくり時間をかけて進めるイメージが保育園の取り組みにはあると述べられました。いずれの方法にもメリットとデメリットがあり、双方が学び合うことや違いをうまく使い分けることが大切だと強調されました。

保育園から幼保連携型こども園に移行了した場合、短

泉州

適切な期待値を  
確認する4つの指標

1月10日、スターゲイトホテルにおいて235人が参加し研修会を行いました。

時間利用の園児にも教育内容がずれないこと、保育者と園児とのやりとりの文脈が途切れないなど配慮すべきだと強調されました。職員の見識も改める必要性を強く感じました。

新制度施行に向け、福祉の視点を基本に、子どもや保護者との信頼関係を築き、教育・保育の質の向上が重要です。

（とりかいひがし保育園 H・S）

未曾有の災害発生、手探りの支援へ

阪神・淡路大震災から20年。あの時の保育部会の支援の動きを記しておく必要があると思われる。ただ文書などはすでに廃棄したため、記憶で辿ることになる。

1995年1月17日。ボチボチ起きようかと思った矢先、グラグラ、慌てて食器棚を支えた。テレビの報道に縛り付けられた。夕刻が迫り、この寒空に放り出された人たちの思うとじっとして居られなくなり、兄貴分の重谷洋壽先生に「今から飯炊いて、神戸へ行って行ったらうやないか!」彼は「待て、一人より組織として行動し

時」と相談し豚汁・鮎掛けソバに決まった。翌日、緊急の施設正副部長会議が開催され、支援本部が大社協に設置された。言い出しつべの私に中

こ、建て売りの町並みが。体育館に段ボールを敷いての雑魚寝状態、瓦礫で釜戸を拵え大鍋の湯沸かし。発泡スチロールの容器は洗って再使用。関西学院大学の学生が近隣を回り、呼び掛けてくれた。

第一部は、インストラクターの藤原恵里氏をお招きしキッズヨガを行いました。ヨガの呼吸法で心を落ち着かせ、想像力を働かせながらポーズをとります。深呼吸をしてお休みのポーズをとると広いホールがシーンと静まりラクゼーションを感じました。キッズヨガは、身体と頭脳を使い、身体能力・運動能力の向上、健全な心、集中力や創造力、そして自己をコントロールする力を身につけます。

よしみち

「さて何を? 被災地には冷たい弁当は配られてる、なら温かいモノに」と、貝塚中央保育園・川崎園長当

ブロックに炊き出し道具の供出を依頼し、大鍋、釜500Lタンクなどが集まった。

て貰う（堺東・志摩園長、プロパンガスは（くさべ・池尾園長）、大鍋の台が要る（さくら・永野三郎の手製）、皆で準備をし、車5〜6台で出発。現地集合の方々も居て、現地に近付く程2階建ての家の1階がべちゃん

全国からの支援物資が届く西宮体育館は、夥しい数量の物資が。誰にモノ言うてエエのか判らん!! 皆ボランティア。預けたプロパンを探すのも一苦労。

（H・N）

（いぶぎの保育園N・N）